

民主島根

2019年
5.12
第1336号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

第90回島根県中央メーデー開催 ストップ消費税10%、9条改憲阻止

中林氏ら先頭に450人が集会・デモ行進

島根県のメーデーは出雲、浜田の各市など5会場で開催され、松江市の中央メーデーには約450人が参加しました。実行委員長の村上(まこ)としまね労連議長が「世界の労働者と団結し、市民と野党の共闘で安倍政権を倒すため、声を上げよう」と呼びかけました。

11団体が発言し、松江生健会の高取謙次会長は高すぎる国保料の引き下げを求め、「公費投入で協会けんぽ並みの負担額にしよう」と訴え。日本共産党の中林よし子参院鳥取・島根選挙区予定候補が決意をのべました。

参加した理学療法士の男性(40)は「医師・看護師不足の上、病床数も減らされている。医



参加者と市内をデモ行進する中林氏(前列右端)ら(松江市)



渡辺治(わたなべ じ) 一橋大学名誉教授の講演。渡辺氏が「市民の共同で安倍改憲に終止符を！」と題して講演。(写真)

「憲法9条は世界の宝 Make Peaceの集い」(憲法改憲反対! 5・3実行委員会主催)が3日、松江市で開催されました。

安倍改憲に終止符を!

渡辺治 一橋大学名誉教授が講演

渡辺氏が「市民の共同で安倍改憲に終止符を！」と題して講演。(写真)

渡辺氏は、安倍改憲の焦点が戦力の放棄を定めた9条2項にあることや、9条に自衛隊を書き込むことで合憲とされる自衛隊は、軍法会議、軍事機密保護、緊急事態条項の導入で、日本の国全体が戦争に市民を動員する体制になると指摘しました。そして、参院選での市民と野党の共同で改憲派の3分の2を阻止すること、3000万署名を成功させることに展望があると語りました。

集会後、参加者は「憲

反対」などとコールしながら、JR松江駅前までデモ行進しました。



日本国憲法が1947年に施行されてから72周年を迎えた3日、日本共産党は地方議員らを中心に各地で街頭宣伝に取り組みました。

松江市では、中林よし子参院鳥取・島根選挙区予定候補、尾村利成県議、橋本祥朗、吉儀敬子、田中肇の市議団が商業施設前で訴えました。(写真)

中林氏は、憲法9条に自衛隊を書き込むなどの安倍首相による異常な改憲策動にふれ、「多くの世

松江 憲法記念日宣伝 中林氏、尾村県議、市議団

法9条を守ろう」とコールしながら会場周辺をパレードしました。60代



日本共産党江津市委員会は4月27日、中林よし子参院鳥取・島根選挙区予定候補を迎え、つどいを開きました。(写真)

2カ所で党外の人をはじめ計40人が集い、森川佳英、多田伸治の両市議が参加しました。

参院選勝利へ 中林 迎え江津でつどい

中林氏は安倍政権を倒すため、参院選で全国32ある1人区の一本化や共通政策の協議などが野党間で進められていると紹介。「本気の共闘なくして自民党に打ち勝つことはできない。安倍政権は許せない」との声を大いに広げていくために頑張り「たい」と決意表明し、参院選での勝利が消費税10%増税ストップへの確かな力になると強調しました。

中林氏はまた、東京電力福島第一原発事故から8年が経った福島県を24、25日に訪ねてきたことを報告しました。

尾村氏は「恒久平和、基本的人権の保障を規定した日本国憲法と住民の命と福祉を守ることを自治体の使命と定めた地方自治法を踵のごとく大切に政治の実現に力を尽くす」と訴えました。

買物客やドライバーから多くの激励が寄せられました。

鼓動

日本各地を測量し、初めての正確な日本全図を作成した伊能忠敬。教科書にも必ず出てくるから、その名を知らない人はいない。江戸時代後期に日本全土を踏破し、測量によって日本地図を作り上げた▼昨年は伊能没後200年に当たり、各地で様々な催しが行われ、実施された。なにせ日本全図というからには、全国の海岸線には一度は訪れているはずである。伊能測量は、1800年から全10次にわたる大事業で、足かけ17年にも及ぶ▼当然、島根県内にもあちこちに足跡が残っている。美保関町には文化3年(1806年)に訪れた時の伊能の日記が残っている。「七月二十五日、晴天。一番隊：二番隊：三番隊：片江浦、菅浦境より始め、山を越え手角村まで測り、千酌浦の禅宗・蓮花寺に泊まる」とある▼この日記から、測量は三つのグループに分けて行ったことが分かる。また、このときには伊能は病気になる、松江で療養しており、測量は弟子や地元の人によって行われていた。伊能は、いわば指揮官として現地入りし、実際の測量は配下の人々がやっていた▼伊能家は、千葉県佐原で米の売買を営む名家で、忠敬もその家の跡取りとして家業を大きく盛り上げ、全国測量に乗り出した55才の時には大資産家であった。楽隠居ができる身分だったが、その安住を捨て、全国測量へと旅立った▼伊能忠敬は、何かを成し遂げようとする意欲には歳は関係ないことを見事に実証して見せた。55歳といえ、当時の平均寿命である。現在の平均寿命にはほど遠い我が身としても何かできるのではと思うのだが…。(吉)